

# みんなのた場

サークル仲間 122

## 情報交換し悩み解消

河南子育てサークル「げんきつず」

河南子育て支援センター「パプラ」を拠点に活動する河南地区の子育てサークル4団体の一つで、広瀬、北村地域を中心とした子育て中のお母さん5人と、0歳から3歳までの子どもたち8人の計13人で活動しています。

10月30日に河南農村環境改善センターで開かれた「にこにこフェスティバル」では、共催した「みりっこ」鹿又カントリーキッズ「どんぐり」の子育てサークルを含む4団体それぞれがブースを設けてバザーを出店。「げんきつず」

は、メンバーやOGから集めた乳幼児用・大人用の衣類やおもちゃ、手作りの髪止めゴムなどを10円から150円で販売し、幼児連れのお母さんたちでにぎわいました。

通常の活動は毎月第2、第4土曜日。農村改善センター12階のパプラに集まり、食事を共にしながら子育てに関する情報交換やお誕生会、小物やバック作りなども行いながら交流を深めています。

メンバーの尾形優衣さんは「情報交換では、「子どもが入浴を嫌がって困る」と

か「離乳食は何かいいのかわからない」と、子育てに関する悩み事を先輩のお母さんたちからいろいろ聞くことができます」とサークルに参加するメリットを紹介。「子どもたちが楽しく遊べるだけでなく、お母さん自身の心身のリフレッシュに役立っています」と強調します。

4年前、結婚を機に横浜から北村に移り住んだ中塩歩さんは、子どもの健康診断で保健師にパプラを紹介されたことをきっかけに「げんきつず」に入会し、地元のお母さんとの交流が広がりました。にこにこフェスティバルには1カ月前から趣味として始めた透明な小瓶などに花やビーズ、オイルを入れる「ハーバリウム」の作品を出品。「作り方をサークルのメンバーにも広めたい」と、張り切っています。



多くの来場者でにぎわう「にこにこフェスティバル」のバザーコーナー



「今後も交流を深めていきます」と張り切る「げんきつず」のメンバー

文化財 たんぽう 110

## 戦時統制で全てに制限

生涯学習課

茶碗や皿などの高台内こうだいに、製造した会社のロゴが焼き付けられているものがあります。石巻市指定文化財旧観慶丸商店の資料に、「瀬」岐「品」の下に番号を付した食器があります。「瀬」は、愛知県瀬戸市周辺で生産される瀬戸焼を示していることは安易に推察されましたが、「岐」品とは、また番号は何を示しているのかを調べたところ、「統制陶器」であることがわかりました。

昭和6(1931)年の満州事変後、日中戦争そして太平洋戦争への突き進んでいくなか、政府はさまざまな経済統制を図っています。軍需生産の増強を図



「岐1148」(有吉田製陶所 小坂久吉による製品(現在の岐阜県瑞浪市陶町))



## 好きなひと好きは誰に

濱本 末吉さん 100歳(宜山町)

濱本末吉さんは大正8年10月12日、北海道函館市で8人きょうだいの末っ子として生まれました。函館工業高校を卒業後、苫小牧市の建設会社に勤務し、主に道路工事に従事しました。20代後半に、同じ函館出身の信子さんと結婚し、1男2女を得ました。50歳ごろ、転勤に伴って石巻市に家族で移り住みました。信子さんは40年ほど前に亡くなりましたが、孫は7人、ひ孫が3人います。



食の好き嫌いはなく、何でもおいしく食べます。趣味は囲碁と書道。自分の好きなことを好きな時間にできる自由な日常が長寿につながっているようです。



### 《豚汁大会》

石巻カトリック幼稚園で秋に行われた取り組みを紹介します。収穫の秋です。この時期、幼稚園では芋掘り遠足、焼き芋大会、秋の実りの収穫感謝祭、また各家庭の協力のもと持ち寄った野菜のクッキング、そして豚汁大会と行事が盛り沢山です。ふだん苦手な野菜も自分たちの手で準備した豚汁は「おいしいね」と言いながら、何回もおかわりします。青空のもと一緒に食べる喜びを味わいながら、心も体も健やかに育つよう願っております。野菜を育てて下さった皆さま、ありがとうございます。 園 健康推進課(内線2428)



# 北上 黄金色の稲を鎌で刈り取り

北上小3年生が体験学習



# Topic of town まちの話題



北上小学校の3年生が10月9日、農家から借りている学校から少し離れた田んぼで稲刈りを体験しました。5月に3年生が田植えした稲は黄金色に実りました。16人の児童たちは北上地区保全会役員3人から鎌の扱い方や注意点などの説明を受けた後、各自で丁寧に刈り取り、棒掛けして自然乾燥させました。12月中に学校で収穫祭を行い、1年間の学習のまとめを発表する予定です。

# 河北 息合った演奏、踊りに喝采

かほく文化祭「芸能音楽祭」

11月2日～4日、河北総合センターで「人・心・和」をテーマに「かほく文化祭」が開催されました。その一環として、4日に「芸能音楽祭」が開かれ、コーラス、ハンドベル、大正琴や民謡、舞踊などの団体が息の合った演奏や踊りなどを披露したほか、ふる里囃子保存会「鼓響」と雄勝町伊達の黒船太鼓保存会が勇壮な太鼓の音を響かせ、観客を沸かせました。



# 石巻 工夫凝らした「エコ」学ぶ

環境フェアのイベントが盛況

「環境フェア2019いしのまき」が11月2日、かわまち交流センターで開かれました。油を使ったせっけん作りに多くの親子連れが挑戦。自転車のペダルをこいで発電するなどの体験型コーナーが数多く登場し、人気を集めました。扉が普通のガラスの冷蔵庫と2重のエコガラスを使用した冷蔵庫を触り比べるコーナーでは「冷たさがまるで違う」と、子どもたちを驚かせました。



# 河南 新米おにぎりや餅が人気

「かなんまつり」に多くの人が出

「第28回かなんまつり」が11月2日、遊楽館で開かれました。開会式では広瀨小学校6年生が河南鹿嶋ばやし、須江小学校6年生が須江獅子舞を披露。館内では新米を使ったみそおにぎりや餅が販売され、人気を集めました。かなんホールでは河南西・東の両中学校吹奏楽部の演奏なども披露され、手芸や陶芸作品の展示もあり、多くの地区民でにぎわいました。



# 雄勝 旬を求めて多くの来場者

おがつ海の幸まつり

「おがつ海の幸まつり」が10月27日、「おがつ店こ屋街」で開かれ、旬の味を求める多くの来場者でにぎわいました。雄勝産ホタテ10枚入りを1,500円、サケの切り身1パックを100円、いくら丼を500円で販売し、人気を集めました。ムール貝を使った「しゅうり汁」が無料配布され、ステージでは勝者にサケ1匹が贈られる「サケじゃんけん」もあり、多くの人が挑戦しました。



# 牡鹿 無理せず楽しく体を動かそう

おしか健康運動教室

気軽に健康づくりを楽しむ「おしか健康運動教室」が10月30日、牡鹿交流センターで開かれ、地域スポーツクラブのリーダーや住民が参加しました。市スポーツ協会インストラクターの指導で、無理せずに行えるストレッチやトレーニング機器の利用方法を学んだほか、体脂肪や体水分が分かる体組成測定器を使って自身の健康状態をチェックしました。



# 桃生 全身を動かして健康増進!

ノルディックウォーキング学ぶ

ノルディックウォーキングを学ぶ介護予防教室が10月25日と11月1日、永井いきいき交流センターで開かれました。健康寿命を延ばし、生涯健康に過ごそうと65歳以上を対象に実施し、21人が参加しました。日本ノルディックフットネス協会の三野宮氏の指導で初日は基礎などを教わり、最終日はセンターを発着点とする町内約3kmのコースを元気に歩き、全身の筋肉を動かしました。

